

DT010

ホルムアルデヒド(HCHO)



実寸(約10cm)

感度	0.5 mg/m ³
吸引量	ハンドポンプ 10 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 1 リットル(1L)
色変化	ホルムアルデヒドが存在する場合: 白色から紫色に変色します。
	 →  ... 
	0.5 mg/m³ 10 mg/m³
反応原理	ホルムアルデヒド[formaldehyde]と特定の試薬との反応により、色のついた 6-メルカプト[mercapto]-5-トリアゾール[triazol]-4,3-b-s-テトラジン[tetrazine]を生成します。
解説	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層は、クロモゲン[chromogen]試薬を含浸させたシリカゲルです。アンプル内には、10%水酸化ナトリウム[sodium hydroxide]溶液中の過塩素酸ナトリウム[sodium perchlorate]飽和溶液が入っています。
検出方法	<ol style="list-style-type: none"> ①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで10回(1回100 mL)または自動ポンプで1L空気を送る。 ③アンプルを割る。 ④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。 ⑤色の変化を確認する。
選択性	揮発性アルデヒド[volatile aldehydes]でも同様の反応が起こります。色が異なる場合があります。
干渉性	空気中の酸性物質により検知管の感度が低下する。
温度	10~50 °C
湿度	10~95 %で利用可能